

県立高校改革（I期）指定事業 実施報告書 （平成28年度）

学 校 名	松陽 高等学校（全定・通）	校 長 名	深川 伸一
指定事業	授業力向上推進重点校		
研究主題	「松陽スタンダード」に基づき、生徒が主体的に学習に取り組む授業の実践及び検証を行うことで、生徒の思考力・判断力・表現力等の一層の向上を図る。		
3年間の目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生徒が自ら「思考・判断・表現」できる能力を身に付けている。 生徒主体の授業の更なる充実、グループワークの質の更なる向上を図り、生徒の「思考力・判断力・表現力」を育成する。</li> <li>2 生徒が大学入学センター試験に替わる新テストに対応できる力を身に付けている。 基礎力をしっかり身に付ける「習得のための主体的な学習活動」、習得した基礎力を「活用するための主体的な追求活動」、真に考えるための「探求型の発展学習」について研究を重ね、新テストに対応できる力を育成する。</li> <li>3 授業力向上をふまえた本校のカリキュラムデザインを完成する。 生徒の探究活動等を組込んだ学習活動を推進できる教育課程の作成に向けた協議、研究を実施し、3年間の取組の成果として完成させる。</li> </ol>		
本年度の研究内容	<p>(1)目標 本校では3年間で生徒に身に付けてもらいたい学力水準を「松陽スタンダード」と位置付けており、平成25年度から3年間その内容の具体化、明確化を目指して研究を重ねてきた。これまでの取組を基に、生徒が主体的に学習に取り組む授業の実践及び検証を行うことを目標とする。特に本年度は、職員の「アクティブラーニング」への理解を深め、本校の現状と課題をふまえた授業改善の推進と共通理解の形成を図る。</p> <p>(2)実施内容（具体的に）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○4月に、授業力向上推進に係るプロジェクトチームを発足し、研究計画を立案した。</li> <li>○6月28日に、学校支援クラウドサービス（Classi）についての教員対象説明会を実施した。</li> <li>○7月14日に、学校支援クラウドサービス（Classi）についての生徒対象説明会を実施した。</li> <li>○8月5日（横浜南西地域）第1回研究協議会準備会を本校で実施した。</li> <li>○9月27日に、ベネッセから「新しい大学入試」についての専門家を招き「授業力向上推進校内研修会」を実施した。</li> <li>○9月28日の職員会議で、授業力向上推進に係る研究の全体像を確認した。また、平成28年度「第一回生徒による授業評価」の集計結果を確認し、その後教科で分析を行った。</li> <li>○9月29日～10月31日に複数回「教科主体のグループによる事前検討会」を設定し、平成28年度「第一回生徒による授業評価」の結果分析と研究授業に向けた授業づくりを行った。</li> <li>○9月より、自らの授業を客観的に観察・評価することで、授業改善に繋げることを目的に「日常的な授業のビデオ撮影」を実施した。</li> </ul>		

- 11月1日～11月18日に、授業見学期間を設定し、教職員が教科を越えて相互に授業を見学し合った。
- 11月18日に、「生徒が主体的に思考し学ぶための具体的な手立てを組み込んだ授業の実践」というテーマで公開研究授業及び、生徒を含めた研究協議会を実施した。
- 11月22日に、(横浜南西地域)第2回研究協議会準備会を本校で実施した。
- 11月22日に、(横浜南西地域)第1回研究協議会を本校で実施した。
- 12月17日に、(横浜南西地域)学習成果発表会・研究成果発表会を本校で開催した。
- 1月25日の職員会議で、平成28年度「第二回生徒による授業評価」の集計結果を確認し、その後教科で分析を行った。
- 2月8日に、平成28年度 国立教育研究所 教育課程研究センター関係指定事業研究協議会「高等学校 論理的思考」に参加した。
- 2月18日に、ICT活用の先進校である日本大学三島高等学校主催の「ロイロノート・スクールユーザー2017 静岡&日大三島公開授業」に参加した。

### (3) 検証方法と検証結果

#### ①「生徒による授業評価」【評価3 (ほぼ当てはまる)・評価4 (当てはまる) の比率】

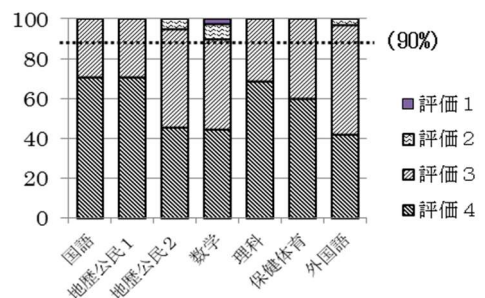
##### ○「D：生徒主体の授業の工夫」

評価3・4と回答した生徒の比率が、第一回授業評価で数学73%、芸術76%、情報75%であったが、第二回授業評価では数学84%、芸術92%、情報88%と大きく上昇した。その他の科目は、国語90%、地理歴史84%、公民96%、理科93%、体育93%、保健92%、外国語94%、家庭91%、総合的な学習の時間95%と、ほとんどの教科で9割台であった。

##### ○「G：学習への取組」

評価3・4と回答した生徒の比率が、第一回授業評価では8割台8教科、9割台4教科となっていたが、第二回授業評価では情報以外の教科で9割台と、とても高い評価になった。

研究授業用「生徒による授業評価」



#### ②研究授業用「生徒による授業評価」

「今日の授業を通して、自分で考え、人とのわりを通してその考えを深めることができた」という設問に対し、評価4：かなり当てはま 評価3：ほぼ当てはまる と回答した生徒の率が、研究授業を実施した全ての教科で9割上であった。

#### ③学習成果発表会・参加者アンケート (生徒)

「学習成果発表会はいかがでしたか。」という設問に対し、「大変よかった」、「よかった」と回答した生徒の比率が100%であった。

「学習成果発表会は今後の学習に役立つと思いませんか。」という設問に対し、「大変よかった」、「よかった」と回答した生徒の比率が100%であった。

#### ④学習成果発表会・研究成果発表会参加者アンケート (教員)

	<p>「学習成果発表会の内容は今後の指導の参考になりましたか。」という設問に対し、「参考になった」「おおむね参考になった」と回答した教員の比率が84%であった。</p> <p>「研究成果発表会の内容は今後の指導の参考になりましたか。」という設問に対し、「参考になった」「おおむね参考になった」と回答した教員の比率が80%であった。</p>
<p>研究の まとめ</p>	<p>(1) 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「新しい大学入試に関わる校内研修会」を実施したことにより、高等学校教育に求められるアクティブラーニングについて、職員の共通理解が深まった。</li> <li>○「生徒による授業評価」において、「生徒主体の授業の工夫」「学習への取組」が高まった。</li> <li>○「生徒が主体的に思考し学ぶための具体的な手立てを組み込んだ授業の実践」をテーマに実践した研究授業において、90%以上の生徒たちが「思考を深めることができた」と実感した。</li> <li>○（横浜南西地域）学習成果発表会の実施により、地域の生徒同士の交流が図られ、発表に対する意識が高まった。</li> <li>○（横浜南西地域）研究成果発表会の実施により、各学校の取組の成果と課題が発信され、お互いに共有することができた。</li> <li>○他校訪問により、授業力向上に係わる先進的な取組について理解を深めた。</li> </ul> <p>(2) 課題（次年度に向けての方向性を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本校での授業実践により、生徒の思考力がどのように向上しているかを測る指標づくりについての研究を進める。</li> <li>○授業見学や授業のビデオ撮影等の具体的取組を全体の取組として自己の授業力改善につなげていく方策を検討する。</li> <li>○効果的な学習成果発表会・研究成果発表会のあり方について検討を重ねる。</li> </ul>
<p>その他 特記事項</p>	<p>特になし。</p>